

## 三島海岸の治山施設等災害復旧事業に係る地元説明会概要

件名	大谷地区のまちづくりに関する住民説明会
日時	平成28年7月30日(土) 18:30~20:30
場所	気仙沼市立大谷小学校 体育館
出席者	大谷地区住民 55名
関係機関	宮北署、気仙沼市、気仙沼土木事務所、大谷里海づくり検討委員会、大谷地区振興協議会
概要	<p><b>1. 説明会の目的</b></p> <p>【気仙沼市役所:建設部長より】</p> <p>大谷海岸地区は市内有数の観光拠点です。震災による津波と地盤沈下で甚大な被害を受けました。復旧にあたり、防潮堤復旧計画は当初砂浜を潰す形で計画されていましたが、地域の皆様より防潮堤をセットバックし、国道と一体的に整備し嵩上げする要望を受けました。地元ではアンケート等を踏まえ、国道を兼ねることや土地の嵩上げ案がまとめられ、市に提出されました。市としても海水浴場の復旧、道の駅等の復興に向けて国県などの関係機関と調整を進めてきました。これまでの結果、細部については今後も継続して協議を行っていきますが、砂浜の確保、防潮堤の高さ、国道まで防潮堤をセットバックし嵩上げすること、そして背後の土地の嵩上げもあわせて行うことについて、概ね調整が整ったので、本日はこれまでの経緯や事業の概要について説明いたします。</p> <p><b>2. 主な質問・意見と回答(林野関係)</b></p> <p><b>質問・意見等1</b></p> <p>質問の前に国、県、市が協力してよくここまで調整していただけて感謝している。ただ、以前にも別の場でも話したが言わなければいけないことがある。林野庁計画(案)について三島漁港側の砂丘ができたのには何億年かかったか分からない。</p> <p>なぜこのような貴重な自然を残そうとしないのか。資料 P3 の CSG 堤のNo. 46 を見ていただきたい。既存の防潮護岸は先程の説明のとおり補修(TP+3.0m)を行い、CSG 堤までの間 15m 空けて設置する計画となっているが、なぜ 15m なのか。既設護岸から 5m であれば背後の砂丘は 10m 守られるのではないか。一度砂丘を崩したら元に戻らない。</p> <p>先程の説明で背後地は作業ヤードとして使用することだが、なぜ木を切らなくてはいけないのか。三島の防潮林は潮害防備保安林を兼ねていると認識しており高潮等のあった場合は役目を十分果たす。もし、切って新たに植えた場合あと何年かかるのか。おかめ浜(野々下防潮堤左岸側)には子供たちが森林管理署と植えた箇所は4・5年で3~4m程度であり、あと何年かかるのか。なぜ、東日本大震災の津波(20m)で残った貴重な木を切らなくてはいけないのか。</p> <p>既設護岸と防潮堤の間を砂で埋めるとの事だが、高潮等で流出するため 15m は必要ない。幅を 5m にすれば CSG 堤の階段 10 段目が TP+3.6m くらいになり既存防潮護は 3.0m であるため若干斜めの砂浜はできる。幅 15m ではなく 10m、5m にする事はできないか検討してほしい。</p> <p><b>回答1</b></p> <p>なぜ15mなのかについては気仙沼市からできる限りセットバックしていただきたいとの要望があり国有林内で施工する最大限セットバックした位置に計画している。</p> <p>木を切らなければいけないかという質問については、計画箇所に設置する場合は、掘削や資材置場等に必要面積が発生するため今ある木は伐採して防潮堤敷、ヤード敷として使用するものである。切った木が今の大きさになるまでにはあと何年かかるとの事だがマツ等を植栽したとすると 30年~40年程度かかる。</p> <p><b>質問・意見等2</b></p> <p>15m下げることは市の要望があったからということで良いか。市が5mで良ければそれでよいのか。野々下は砂地ではなく背後地は市道が通っており、それなりの施工をしなくてはいけない現場ではあるが、作業ヤード敷は気仙沼市が買収(宅地)した箇所が使用出来るのではないか。個人的にはあの砂丘が無くなってしまのは非常に残念である。</p> <p>あとは住民の皆さんが考えることですので意見があれば森林管理署は考えてくれると思う。</p>

### 質問・意見等3

野々下の時にもお願いしましたが、10m,15m セットバックしたときに現地にて丁張り等により位置や高さが分かるように現地説明してほしいが可能か。空想だとイメージしづらく高さ表示する事により納得することができた。

### 回答3

現地での説明は可能である。

### 質問・意見等4

林野庁資料 P3 にガレキと記載しているが、ガレキについては何の説明がないがどのように考えているのか。撤去をするのか、また、どこがやるのか。

### 回答4

林野庁計画の 390m 間については重機が届く範囲で瓦礫撤去をするが、土木側 800m 間については土木事務所の施工となるため、土木側で回答をお願いしたい。

### 回答4(県土木)

土木側のガレキについては元々、林野庁所管の防潮堤であることから今後調整したい。

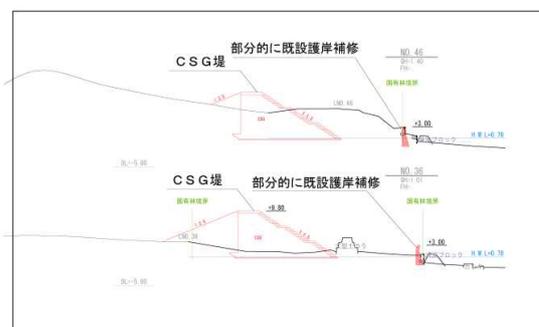
### 質問・意見等5

住民側としてはどこがやるかは重要ではなく、とにかくきれいに撤去していただきたい。

### まとめ

今後も検討委員会や振興会等と協議し、必要によっては説明会も開催させていただきながら報告させて頂くということで、本日提案した大谷まちづくり計画については大筋合意された。

### 【説明会の資料】



### 【説明会の様子】

